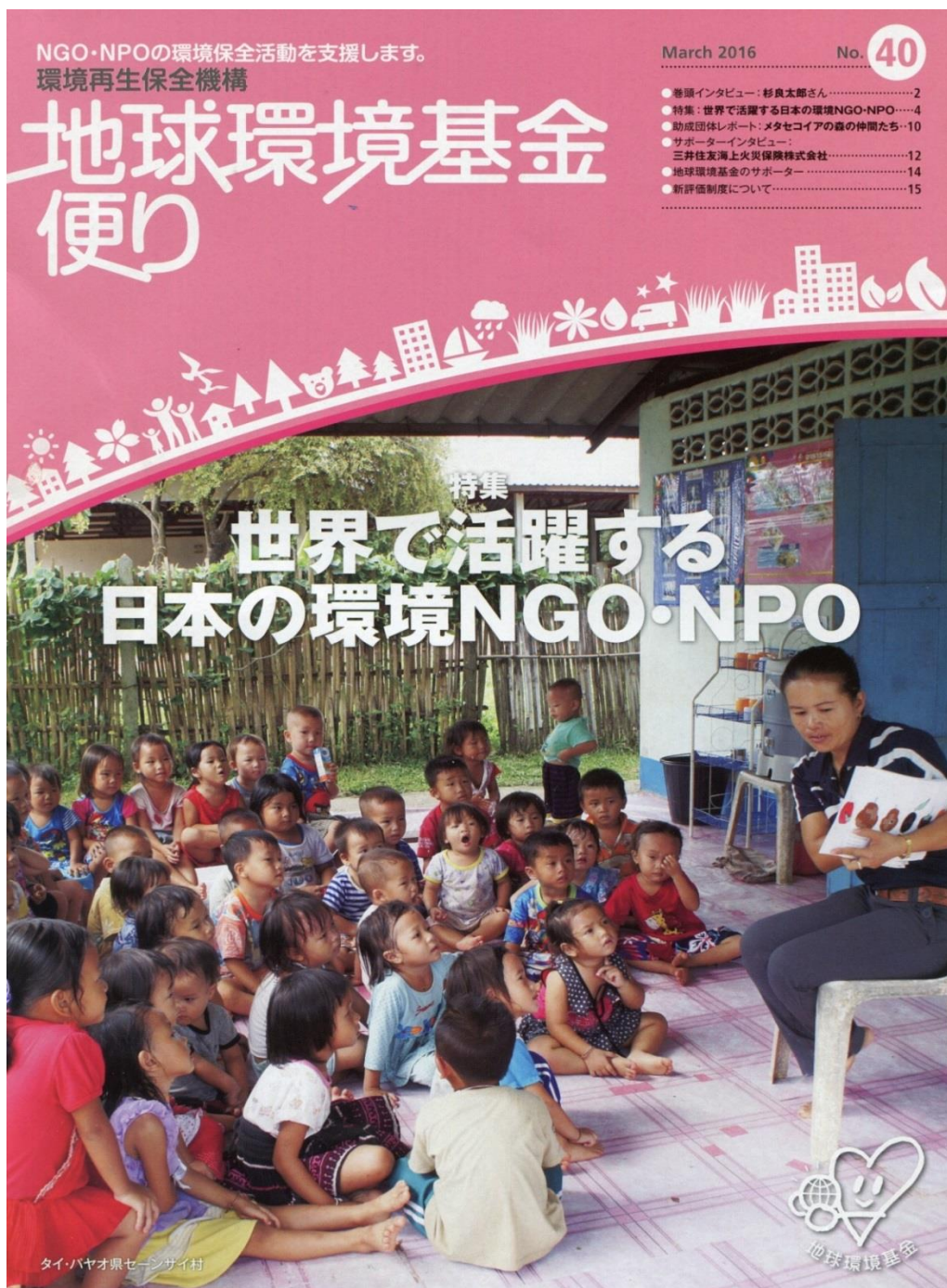


発行：2016年3月10日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャントィ山口 代表 角 直彦

連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083

ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

シャントィ山口の活動が掲載されました。



## 表紙写真

### 保育所での環境衛生指導

NPO法人シャントィ山口(6ページ参照)は、タイ北部で主にモン族を中心とした山岳民族の自立支援を行っています。公的機関の彼らへの支援は必ずしも万全ではありません。そこで、同団体は活動の一環として、地元公的機関に対し粘り強い交渉を重ね、モン族の子どもたちが通う施設内で、タイ人医師・専門家による定期的な健康診断や衛生環境指導を実現させました。

## 編集後記

40号では「世界で活躍する日本の環境NGO・NPO」をテーマに、現地のニーズに合った支援などさまざまな取り組みをご紹介します。現地に行ったからこそ知り得た先祖伝来の伝統文化から学ぶことの重要性など、生の声をお伝えできれば幸いです。

事例  
1

特定非営利活動法人 シャンティ山口

—タイ国・北タイ地域「トウモロコシ栽培で荒廃した農地を果樹林に」  
森林再生と農村開発—

<http://www.shanti-yamaguchi.com/>



活動地域：バヤオ県  
セーンサイ村

# タイ北部・山岳少数民族の 自立を支援して23年

支援の基本方針は住民の  
自立心を育てること



不法伐採した山の斜面に植えられた  
遺伝子組み換えのトウモロコシ

1993年に設立されたシャンティ山口。以来、タイ北部のラオス国境に接したバヤオ県セーンサイ村を拠点に、モン族を中心とした山岳少数民族の自立に向けた支援を続けています。彼らはラオスからの難民で生活基盤も乏しく、いまだ困難な生活を強いられています。こうした状況の下、地球環境基金のプロジェクトとして、2005年からエコトイレの設置やアグロフォレストリー※の導入などを実施してきましたが、注目すべきはその支援方針です。

佐伯昭夫事務局長は「支援する側が全てお膳立てしては意味がありません。自分たちの問題として取り組んでこそその支援です。例えばエコトイレなら、設置するどう生活が変わるのか？そこをまず理解してもらいます。そして、設置工事自分たちの手で。工事しながら仕組みを理解すれば、自身で補修できますからね。こちらで設置して『はい、どうぞ』では、いつまで経っても自立できません。自らの問題として取り組むのが何より重要」と強調します。

## 収穫までの数年はガマン 明日を信じた転作

※植林し、その樹間で家畜農作物を飼育栽培する農林複合経営



果樹への転作で緑がよみがえってきた  
山の斜面

今、セーンサイ村近くのホイブム村では、遺伝子組み換えトウモロコシの過剰な栽培地拡大により、森林消滅や農業散布による健康被害、農地荒廃、



村民総出で行われた栽培地に続く  
作業道の補修

水源枯渇などの問題が起きています。トウモロコシの収穫量アップを望んだものの、結果的には多くの問題を抱えることに。シャンティ山口は地元村民のモン族と共にこの問題に取り組んでいますが、理想論を振りかざして、彼らに転作を強要することはありません。決めるのはあくまで村民なので、希望者にラムヤイヤマンゴーなどの苗を支給し、果樹への転作を支援しています。ただし、本格的な収穫は数年先……。

佐伯さんによれば、転作を完了した村民は自らは満足しているものの、本格的な収穫ができるまでは家族を村に残し海外へ出稼ぎに行くのが現実だそうです。残された家族は苗木を管理するとともに、果樹間に植えたインゲン豆や落花生などで現金収入を得ています。こうした厳しい現実を覚悟しての、希望に満ちた転作なのです。



2016年2月に20周年を迎えたシャンティ  
学生寮。これまでに270人が巣立っている

強い絆が希望を生む

世界で活躍する  
日本の  
環境NGO・NPO

～環境支援募金にご協力をお願いします。～

20160310saeki